

インスリンペン型注入器

イタngo®の正しい使い方



高度管理医療機器

承認番号：22000BZX00174000

A型専用注射針用



ランタス注カート
アピドラ注カート専用

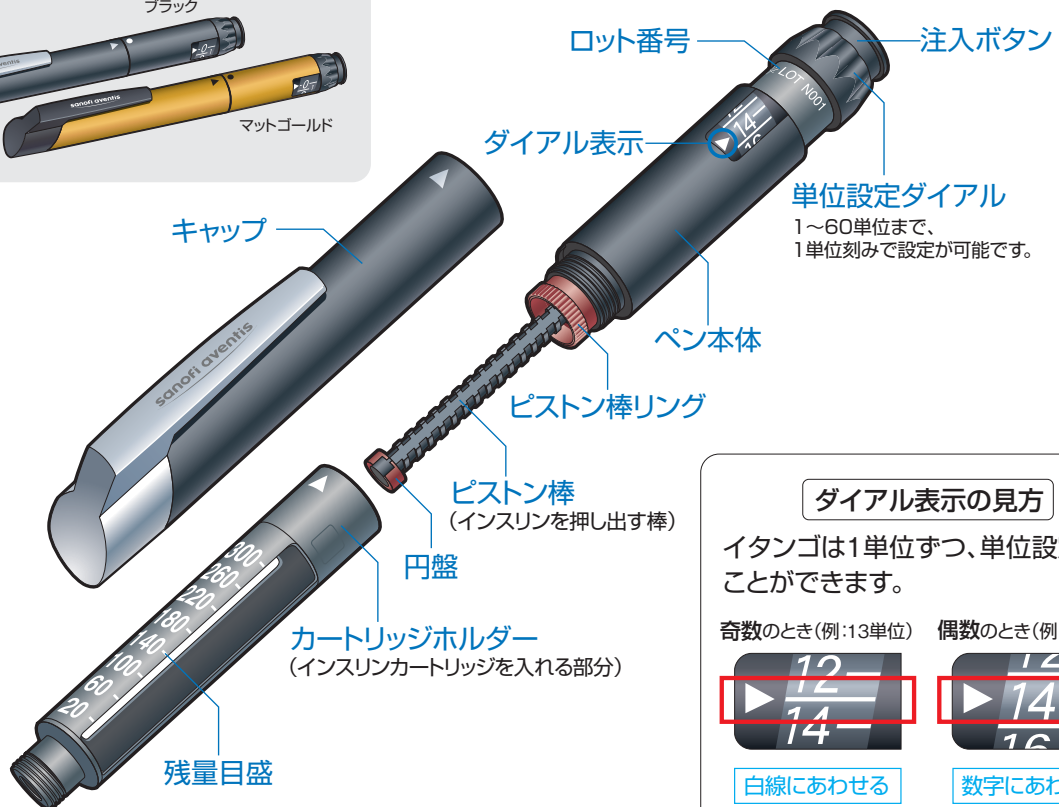
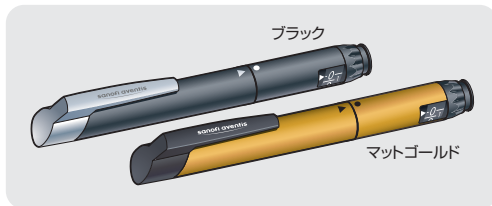
sanofi aventis

Because health matters

インスリン注入器 各部の名称・特徴

イタンゴ®

イタンゴは、ランタス®注カート、アピドラ®注カート専用のインスリンペン型注入器です。
イタンゴは、ブラックとマットゴールドの2色あります。どちらの色のイタンゴも操作方法は同じです。



ダイヤル表示の見方

イタンゴは1単位ずつ、単位設定することができます。

奇数のとき(例:13単位) 偶数のとき(例:14単位)



白線にあわせる



数字にあわせる

インスリンカートリッジ

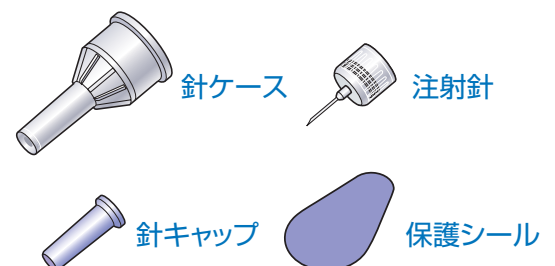
本品専用のインスリンカートリッジを使用してください。



上記2種のインスリンカートリッジを処方されている場合には、
各々の製剤ごとに専用の注入器をお使いください。

使い捨て注射針

JIS T 3226-2に準拠したA型専用注射針
を使用してください。



インスリンカートリッジおよび使い捨て注射針は、イタンゴには付属していません。

1 使いやすい

単位設定・修正が簡単。単位表示が見やすい。

2 スムーズで軽い注入感

3 軽量でコンパクト

サノフィ・アベンティス 糖尿病関連医療機器サポートダイヤル

操作方法を24時間365日サポート



イタangoをはじめサノフィ・アベンティスの糖尿病関連医療機器の操作方法に関するご質問に、専任のスタッフが24時間365日、いつでもサポートします。

【ご注意】

- イタンゴを他の人と共有しないでください。
- 破損したイタンゴは使用しないでください。
- イタンゴを分解・改造しないでください。また、工具などを用いて修理を試みないでください。
- 当社のインスリンカートリッジの注射以外の目的で使用しないでください。

- 本品をご使用になる前に、取扱説明書および使用する製剤に添付の注意文書を必ずお読みになり、その指示に従ってください。指示に正しく従わなかった場合、正しいインスリン量が注射されず、血糖コントロールが乱れるおそれがあります。
- インスリンの注射にあたっては、必ず主治医の指示に従ってください。また、インスリンの種類、単位などの変更は、主治医の指示で行ってください。
- 本品専用のインスリンカートリッジを使用してください。
- 使い捨て注射針は、JIS T 3226-2に準拠したA型専用注射針をご使用ください。
- カートリッジホルダーの残量目盛は、およその残量を確認するために使用し、注射する単位をはかる目的で使用しないでください。
- 円盤のついていないイタンゴは使用しないでください。円盤は少しグラグラしていますが、故障ではありません。
- イタンゴはインスリンカートリッジを取りつけていない状態で単位設定ダイヤルを回した時にピストン棒が動くことがありますが、故障ではありません。
- イタンゴは注射針を取りつけずに単位設定ダイヤルを回したり、注入ボタンを押し込んだりしないでください。故障の原因となります。
- イタンゴを目の不自由な方がご使用になる場合は、操作法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。
- イタンゴは注意深く取り扱い、ペン本体を置く場合にはできるだけ平らな場所に置き、落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- イタンゴの汚れは、よく水を絞ったやわらかい布でふきとってください。アルコールや有機溶媒、中性洗剤は使用しないでください。また、油をさしたり、水につけたりしないでください。
- 万一、紛失したり故障した場合などに備えて、イタンゴ、使用するインスリン製剤および注射針の予備を用意しておくことをお勧めします。

目次

■ インスリン注入器 各部の名称・特徴	2
■ ご使用にあたって	4

■ インスリンカートリッジの取り付け	6
--------------------	---

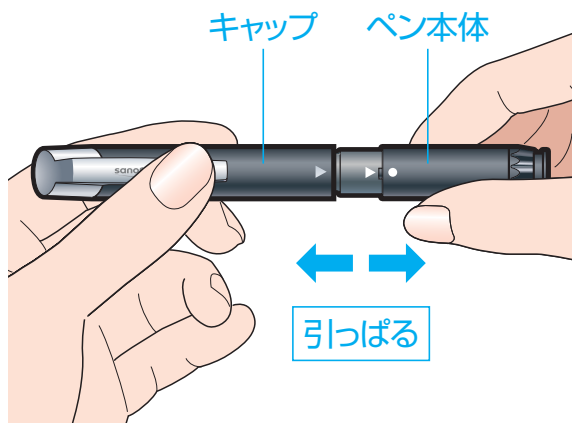
■ 注射の手順	
■ 注射針の取り付け	8
■ 空打ち	10
■ 単位の設定	12
■ 注射	14
■ 後かたづけ	16

■ インスリンカートリッジの交換	16
------------------	----

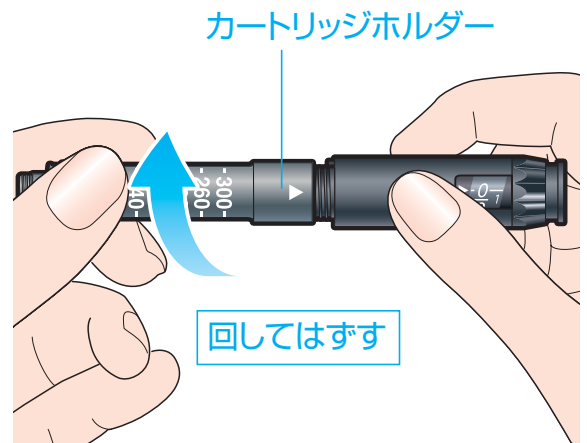
■ 保管とお手入れ	18
■ こんな時には? ～低血糖時の対処方法～	19
■ こんな時には? ～トラブル時の対処方法～	20
■ 交換時期	23

インスリンカートリッジの取り付け

- 1** ペン本体とキャップをまっすぐ引っぱってはずします。



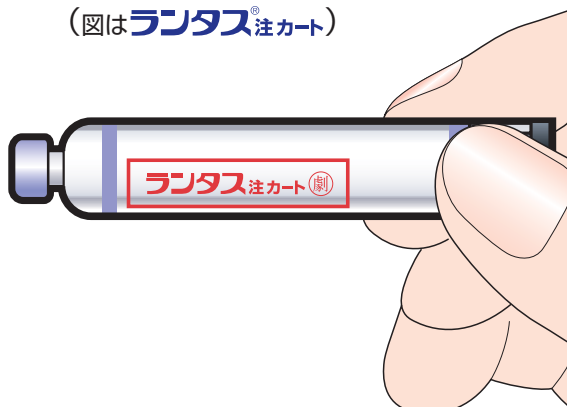
- 2** カートリッジホルダーを回して、ペン本体からはずします。



● カートリッジホルダーをはずす前に、ダイアル表示が「0」になっていることを確認してください。

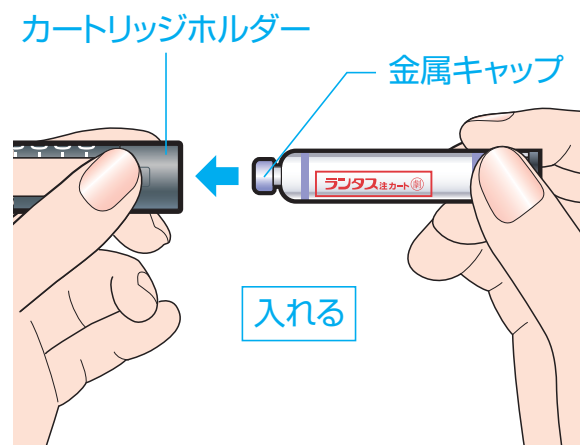
- 5** 本品専用のインスリンカートリッジであることを確認します。

(図はランタス[®]注カート)



- 新しいインスリンカートリッジは、冷蔵庫から出して1～2時間くらい室温下に置いてからお使いください。
- 次のような場合は使用しないでください。
 - インスリンカートリッジにひびが入っている。
 - インスリンカートリッジ内が無色澄明でない、または浮遊物が見られる。

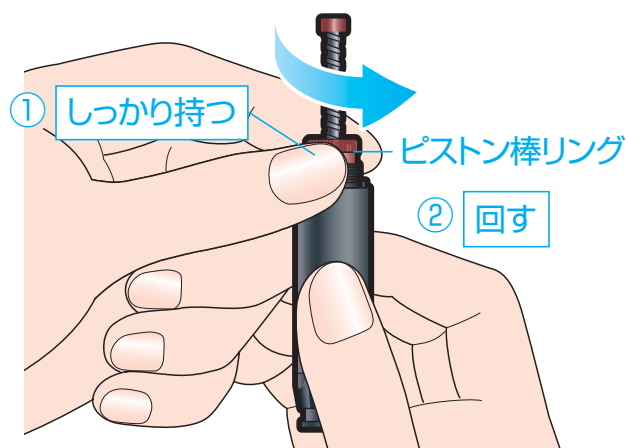
- 6** インスリンカートリッジを、金属キャップの方からカートリッジホルダーに入れます。



一度取りつけたインスリンカートリッジは、使い終わるまで取り出さないようにしてください。

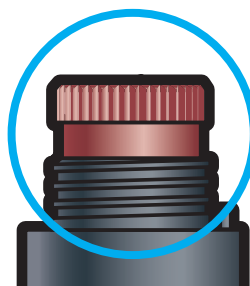


3 赤いピストン棒リングを軽く当たる感触があるまで回し、ピストン棒をペン本体の中に完全に戻します。

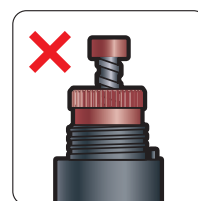


- 円盤を手でつまんでピストン棒リングを押し込もうとしたり、引っばったりしないでください。

4 ピストン棒がペン本体の中に戻ったことを確認します。



戻ったことを確認



- ダイアル表示が「0」になっていることを確認してください。
- ピストン棒の先端に円盤がない場合には、使用しないでください。

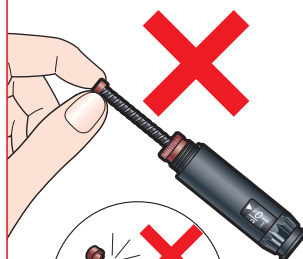
7 カートリッジホルダーを止まるまで回し、ペン本体にしっかり取りつけます。



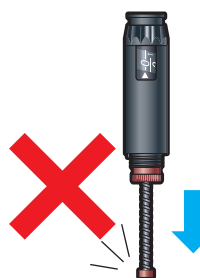
- ペン本体とカートリッジホルダーの間にすきまが残っていたり、ゆるみがないことを確認してください。



ピストン棒は大事な部分です。



- 円盤を手でつまんでピストン棒を押し込もうとしたり、引っばったりしないでください。円盤が外れることがあります。円盤が外れた場合は、使用しないでください。



- ピストン棒を固いものに押しつけるなどして、ピストン棒を無理に押し込もうとしないでください。故障の原因となります。

注射針の取り付け



注意

使い捨て注射針はJIS T 3226-2に準拠したA型専用注射針をご使用ください。

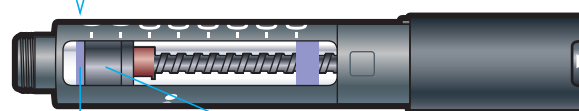
注射のたびに、必ず新しい注射針をご使用ください。

注射針を取りつける前に

インスリンカートリッジ内のインスリン残量を確認します。

ゴムピストンの先端がインスリンカートリッジのカラー帯にかかったら新しいインスリンカートリッジに交換する目安です。

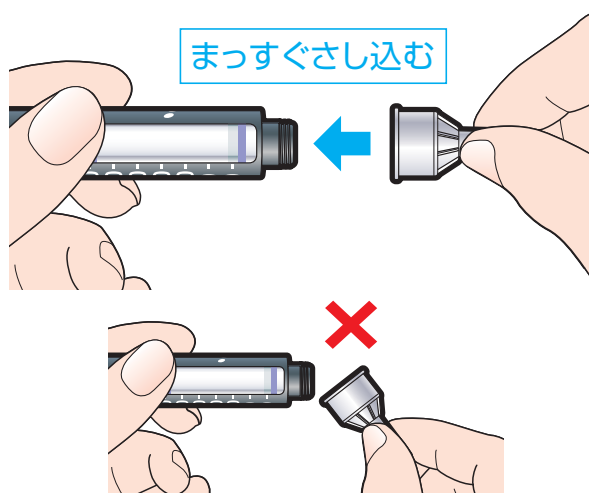
残量を確認する



カラー帯 ゴムピストン

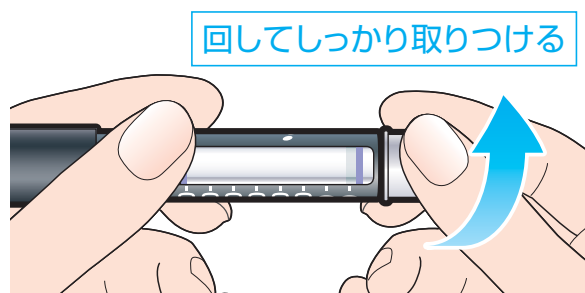
- 使いはじめて4週間を過ぎたインスリンカートリッジは使用しないでください。

3 ゴム栓に、新しい注射針をまっすぐにさしこみます。

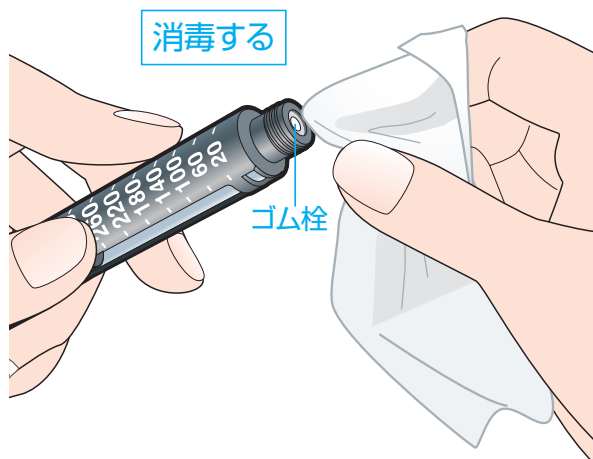


- 感染症や針づまり、気泡の混入を防ぐために、毎回新しい注射針を使用してください。
- 注射針を斜めに取り付けると、針曲がりや針折れの原因となり、液漏れや液が出なくなるおそれがあります。

4 カートリッジホルダーを持ちながら、針ケースを回してしっかり取りつけます。



- 1 インスリンカートリッジ先端のゴム栓を、消毒用アルコール綿でいねいにふきます。



- 2 新しい注射針の保護シールをはがします。



空打ち



イタンゴは、注射針をつけずに単位設定ダイヤルを回したり、注入ボタンを押し込んだりしないでください。



注意

空打ちは、毎回の注射の直前およびインスリンカートリッジの交換後に必ず行ってください。

インスリンカートリッジ内の気泡の除去をするとともに、イタンゴ本体と注射針が正しく機能することを確認するための大切な操作です。

1 ダイヤル表示が「0」になっていることを確認します。

「0」を確認

ダイヤル表示



4 針先を上に向けて持ち、カートリッジホルダーの上部を指で軽く数回はじき、気泡を上部に集めます。

指ではじく

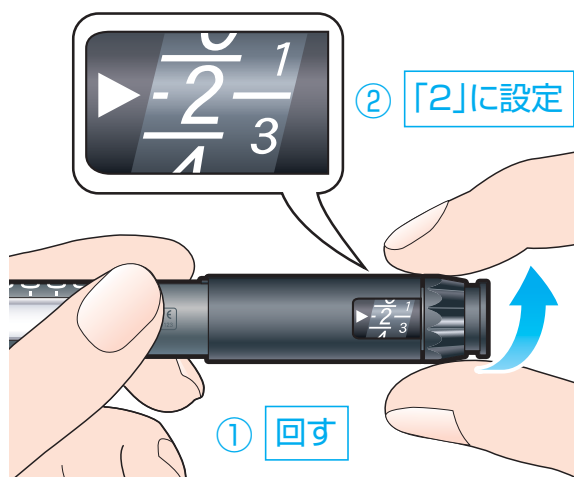


- ここからの操作は注射針が出ていますので、十分に注意してください。

5 注入ボタンをダイヤル表示が「0」になるまでしっかり押し込み、針先からインスリンが出てくることを確認します。

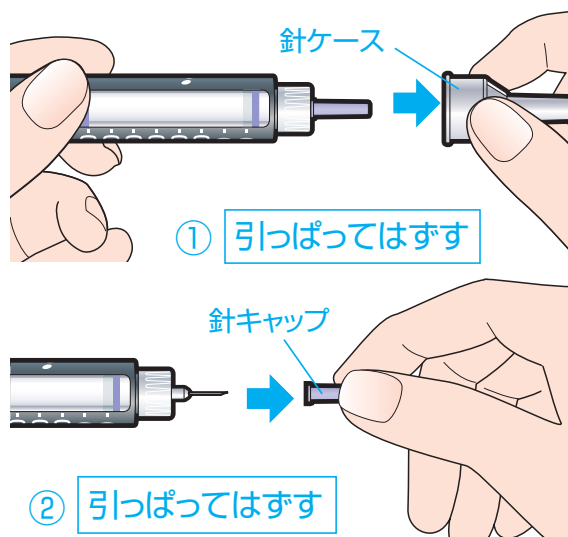
- 新しいインスリンカートリッジを装着した後は、数回空打ちを繰り返さないと、インスリンが出ないことがあります。
- 空打ちを数回繰り返しても、インスリンが出てこない場合は、注射針がつまっているか、曲がっている可能性があります。新しい注射針に交換し、空打ちの操作を繰り返してください。
- 注入ボタンの押し込み方などにより、インスリンの排出量が異なって見えることがありますが、空打ち後の注射量には影響はありません。
- インスリンカートリッジ内に小さな気泡が残ることがありますが、問題はありません。

2 単位設定ダイヤルを回して、ダイヤル表示を「2」単位に設定します。



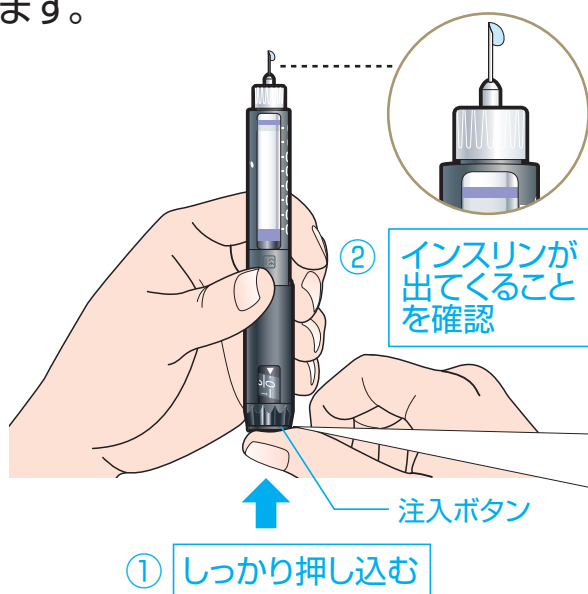
● 回しすぎてしまった場合は、逆に回して「2」単位に修正してください。

3 針ケースと針キャップをまっすぐに引っばって、はずします。

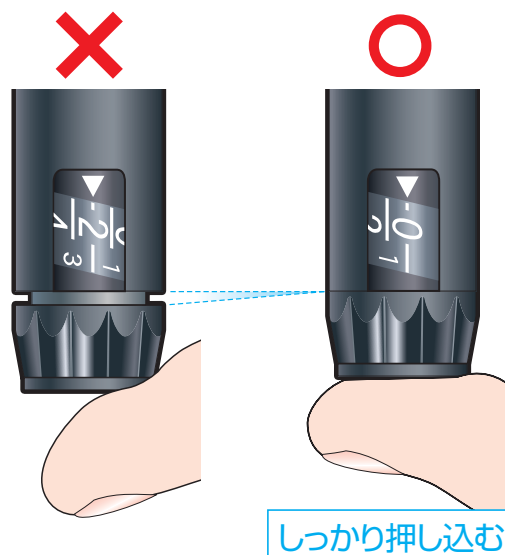


● 針ケースは、注射針の取りはずし・廃棄時に使用しますので捨てないでください。

インスリンが出てこない場合は、**空打ち 1**に戻りインスリンが出てくるまで繰り返し空打ちを行います。



注入ボタンはダイヤル表示が「0」になるまでしっかり押し込みます。



単位の設定

- 1 空打ち後、ダイヤル表示が「0」になっていることを確認します。



- ダイヤル表示が「0」でない場合は「0」になるまで注入ボタンを押し込んでください。

- 2 単位設定ダイヤルを回して、注射する単位を設定します。



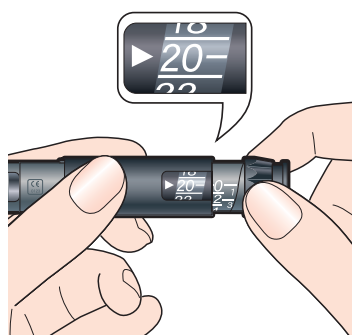
- 単位設定ダイヤルが途中で止まって注射する単位が設定できない場合は、無理に回さず、下段の**単位設定ダイヤルが途中で止まったら…**をご覧ください。

単位設定ダイヤルが途中で止まったら…

単位設定中に単位設定ダイヤルが途中で止まったときは、インスリンの残量が不足しており、ダイヤル表示に示された単位を注射することができます。

1 または **2** のいずれかの方法で対処してください。

例： **注射する単位** は24単位だったが、**ダイヤル表示** が20単位で止まった場合



新しいインスリンカートリッジに交換して注射する

1

2

ダイヤル表示 + **不足分** を注射する

ダイヤル表示の見方

イタンゴは1単位ずつ、単位設定することができます。

偶数のとき(例: 24単位) 奇数のとき(例: 25単位)



数字にあわせる



白線にあわせる

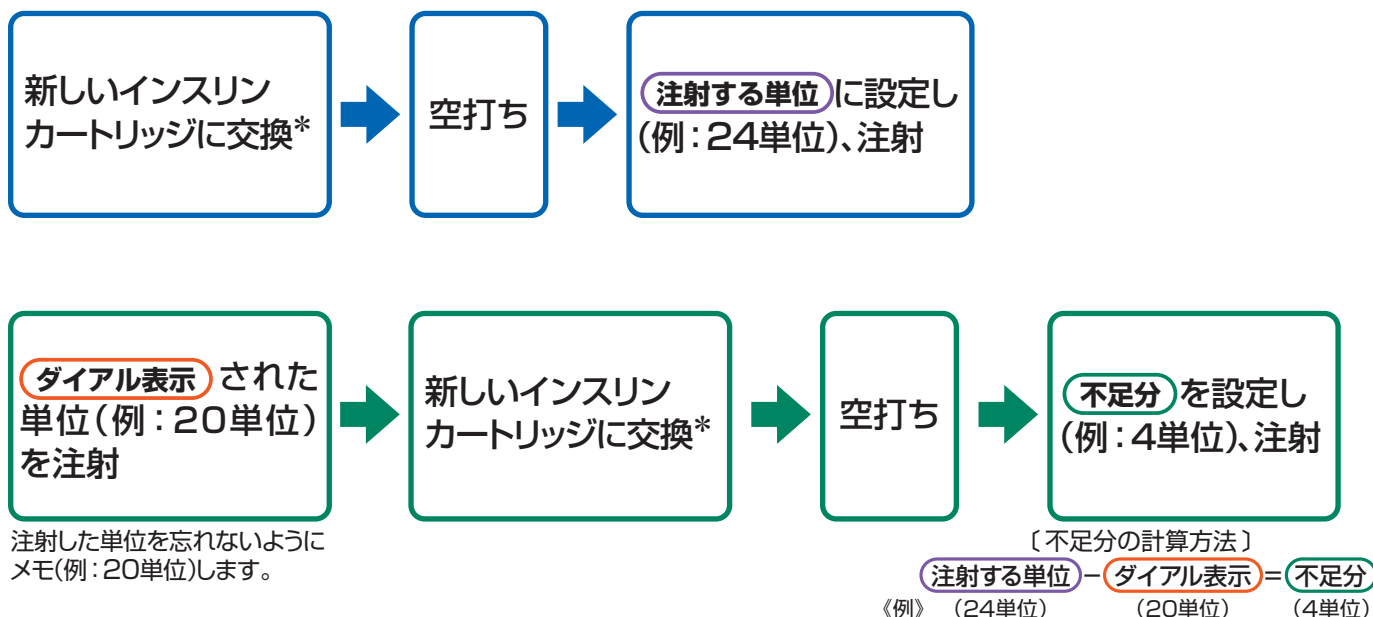
- 故障する可能性があるため、60単位を超えて単位設定ダイヤルを回さないでください。
60単位を超えて注射する場合は、2回に分けて注射してください。

単位の修正

回しすぎてしまった場合には、逆に回して正しい単位に修正してください。



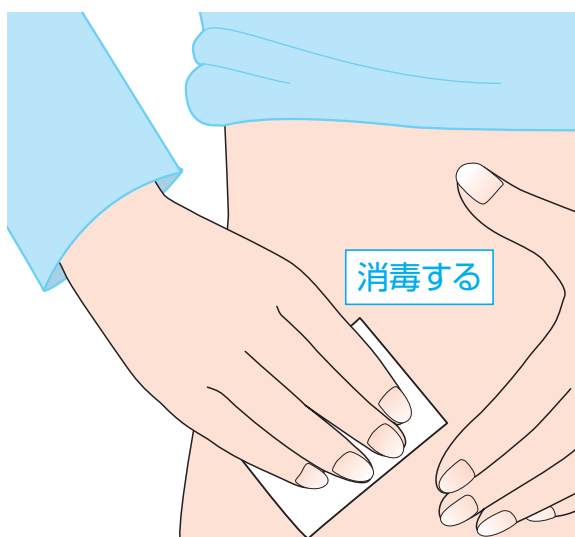
*新しいインスリンカートリッジの交換は、注射針を取りはずし、ダイヤル表示を「0」に戻した後、16ページ **インスリンカートリッジの交換** を参考に行ってください。



注射

☞ 注射の前には、注射する単位が設定されていることを確認してください。

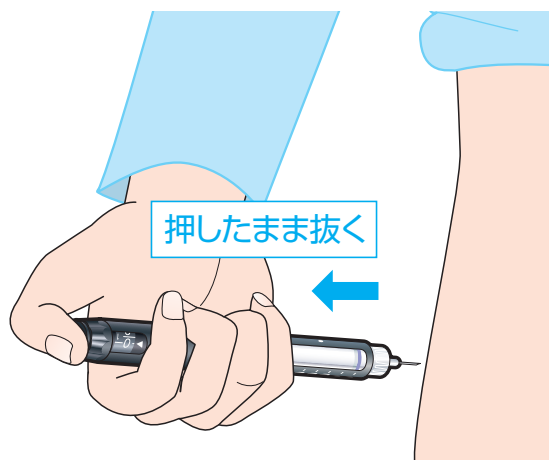
1 注射する部位を消毒用アルコール綿で消毒します。



2 皮膚に注射針をさします。



4 注入ボタンを押したまま、注射針を抜きます。

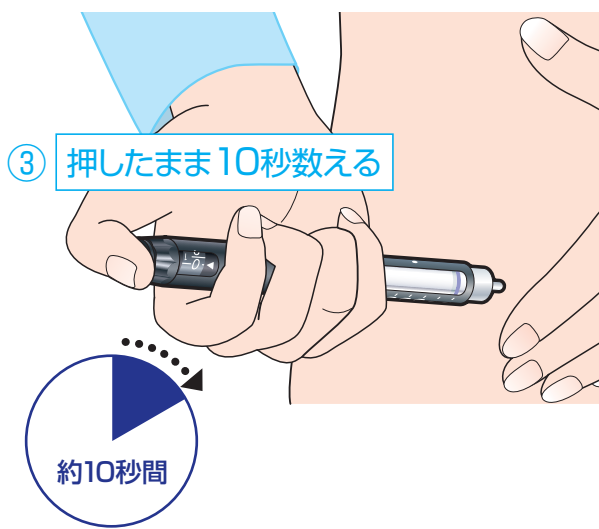
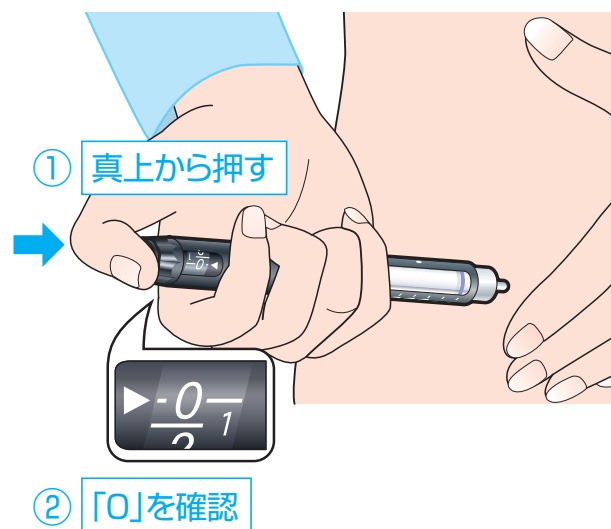


- 注射針を抜き終わる前に注入ボタンを押す力をゆるめると、まれにインスリンカートリッジ内に血液が逆流することがあります。
- インスリンカートリッジ内に血液が混入した場合は、新しいインスリンカートリッジに交換してください。

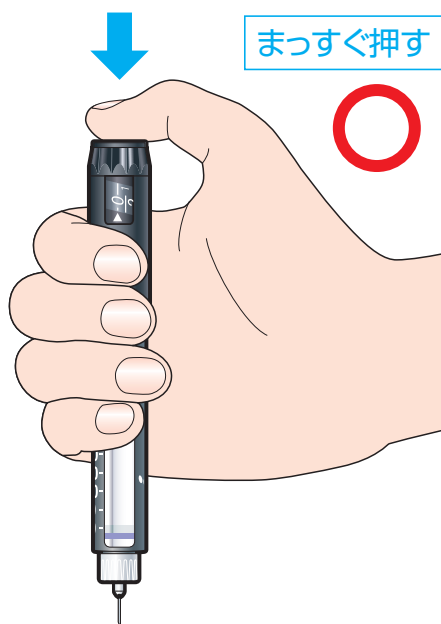
5 注射後は必ず16～17ページの「後かたづけ」を行います。

3 注入ボタンを真上からしっかり押し込んで、ダイヤル表示が「0」に戻ったことを確認します。

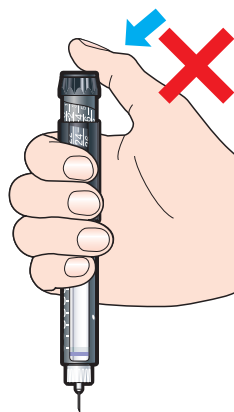
完全にインスリンを注入するため、注入ボタンを押した状態でゆっくりと10秒数えます。



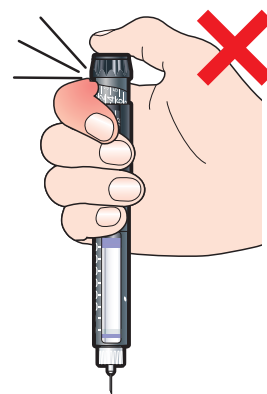
注入ボタンは正しく押しましょう。



斜めから
押さない



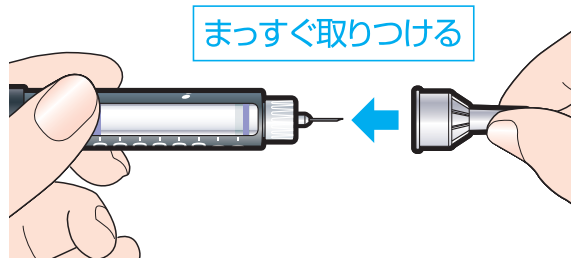
単位設定ダイヤルの
側面に触れない



● 単位設定ダイヤルの側面に指が触れていたり、注入ボタンを斜めから押すと、注入ボタンが押し込めない場合があります。

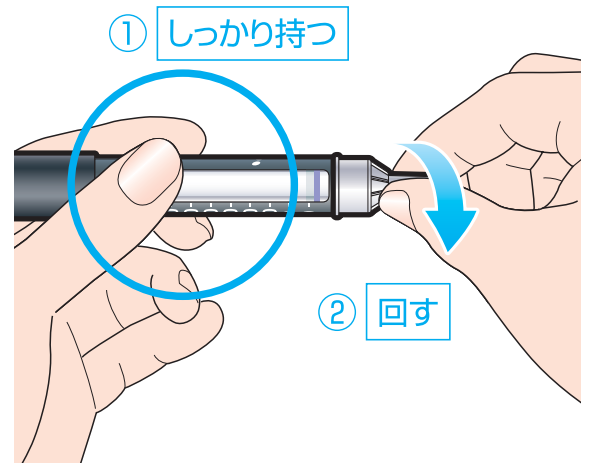
後かたづけ

1 針ケースを注射針にまっすぐ取り付けます。



- 感染症や針づまり、気泡の混入を防ぐために注射後は速やかに注射針をはずし、注射のたびに新しい注射針を使用してください。
- 針キャップは絶対に再度使用しないでください。注射針で指をさすおそれがあります。
- 針ケースを斜めからつけると、注射針が針ケースを突き抜けることがあります。
- 注射の手助けをする場合は、針さし事故や感染に注意してください。

2 カートリッジホルダーをしっかり持って、針ケースを回して注射針を取りはずします。

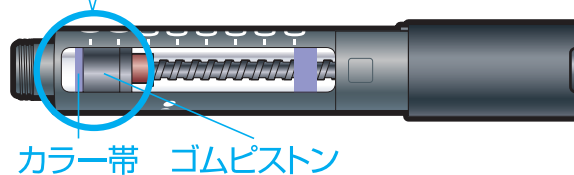


インスリンカートリッジの交換

インスリンカートリッジの交換時期

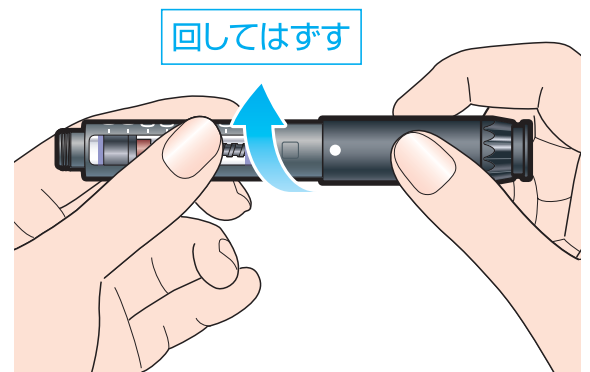
ゴムピストンの先端がインスリンカートリッジのカラー帯にかかったら新しいインスリンカートリッジに交換する目安です。

残量を確認する

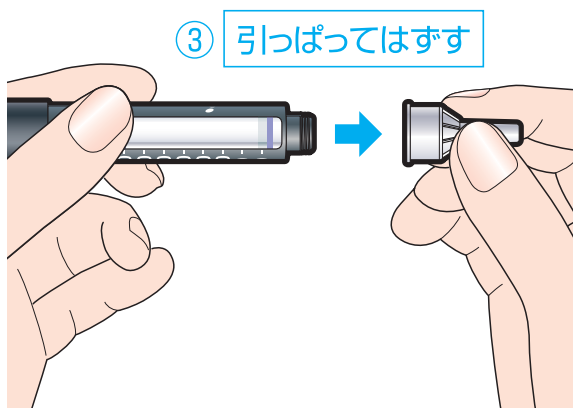


- 使いはじめて4週間を過ぎたインスリンカートリッジは使用しないでください。

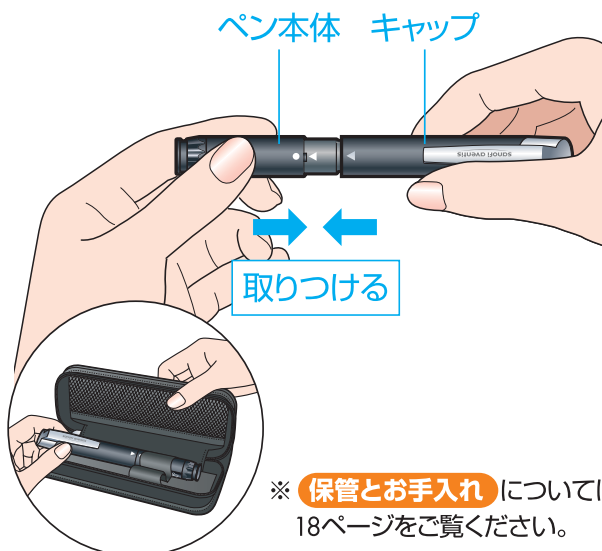
1 注射針をはずした後、カートリッジホルダーを回して取りはずします。



3 ペン本体にキャップを取りつけ、専用のポーチに戻し、涼しいところで保管します。

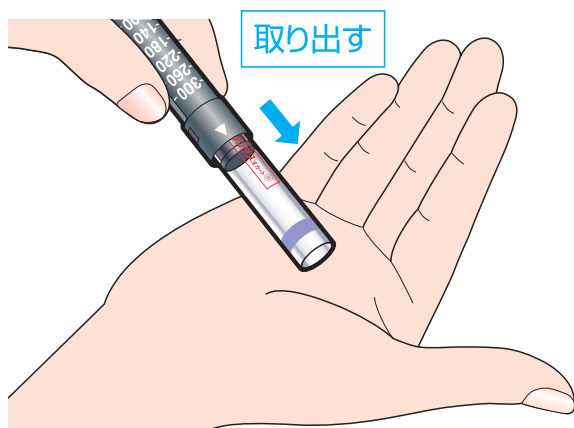


●使用済みの注射針は、主治医の指示に従い、危険のないよう廃棄してください。



※ **保管とお手入れ** については18ページをご覧ください。

2 使用済みのインスリンカートリッジを、カートリッジホルダーから取り出します。



●使用済みのインスリンカートリッジは、医療機関の指示に従って、安全な方法で廃棄してください。

3 新しいインスリンカートリッジを準備し、7ページの**インスリンカートリッジの取り付け** 3に戻り、インスリンカートリッジを正しく取り付けます。

(図は **ランタス®注カート**)



新しいインスリンカートリッジを準備する

保管とお手入れ

1 イタンゴの保管

イタンゴおよび使いはじめたインスリンカートリッジは、涼しいところで保管または携帯してください。

イタンゴを冷蔵庫に入れないでください。
結露などにより本体の故障の原因となります。

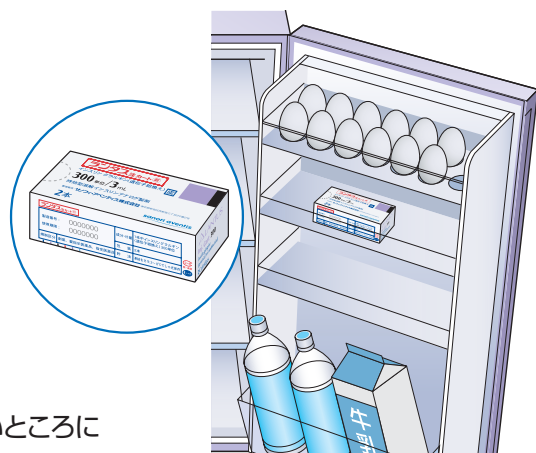
- 次のような場所を避けて保管してください。
 - ・ 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所
 - ・ 極端な低温または高温の場所
 - ・ ゴミやホコリの付着しやすい場所
 - ・ 汚れやすい場所
- イタンゴや注射針などは、子供の手が届かない場所に保管してください。
万一、誤って注射針を飲み込んだり、さしたりした場合には、救急処置が必要となります。



2 未使用のインスリンカートリッジの保管

未使用のインスリンカートリッジは、冷蔵庫に保管してください。
冷凍庫など凍結する危険性のあるところには保管しないでください。

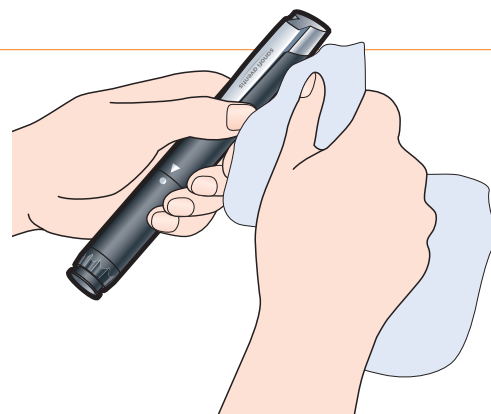
- 凍結した場合は使用しないでください。
- 使用直前までインスリンカートリッジをブリスター包装から出さないでください。
- 冷蔵庫内の温度管理に気を付けてください。
- 保管場所は冷蔵庫のドアポケットなど、冷気に直接触れないところに置いてください。



3 イタンゴのお手入れ

イタンゴの汚れは、よく水を絞ったやわらかい布でふきとってください。

- アルコールや有機溶剤、中性洗剤は使用しないでください。
- 油をさしたり、水につけたりしないでください。



こんな時には？ ～低血糖時の対処方法～

薬物療法を行っているときは、低血糖を起こすことがありますので、注意してください。

低血糖の原因

インスリン注射をしている場合

●インスリン

決められた量や時間を守っていますか？

●食 事

注射してから食事までの時間が空きすぎていませんか？

食事を抜いたり、量が少なすぎたりしていませんか？

●運 動

いつもより激しい運動をしたり、長く運動していませんか？

低血糖の主な症状

※個人差はありますが、自分の症状をよく知っておきましょう

- 頭が重い
- 頭が痛い
- 脱力感
- 空腹感
- 吐き気
- 動悸
- ふるえ
- 冷や汗
- 不安感
- イライラ
- けいれん
- 生あくび
- 体がだるい
- よく見えない
- ボーッとする
- 物が二重に見える など

低血糖のサインが出たら

万一、注射後、低血糖症状が出たら、ただちに糖分の多い食品を摂ってください。
糖分の多い食品：角砂糖、分包シュガー、ジュース（無糖でないもの）

- アカルボース（製品名：グルコバイ）、ボグリボース（製品名：ベイスン等）、ミグリトール（製品名：セイブル）を併用している場合は、砂糖は不適切です。必ずブドウ糖を摂ってください。

※薬物療法を中止せず、必ず主治医に相談してください。

※具体的な食品の種類や量は、主治医の指示に従ってください。

こんな時には？～トラブル時の対処方法～

●記載以外のトラブル、ご不明な点がある場合は、**オペテコール24** ☎0120-49-7010 までご相談ください。

■ カートリッジホルダーをペン本体に装着できない

考えられる原因		対処方法	関連ページ
1	インスリンカートリッジの向きが逆になっていませんか？	金属キャップの方からカートリッジホルダーに挿入してください。	6～7
2	他のインスリン製剤を使用していませんか？	本品専用のインスリンカートリッジをお使いください。	
3	ピストン棒が完全にペン本体に戻っていますか？	ピストン棒を完全にペン本体に戻してください。	

■ ピストン棒から円盤がはずれてしまった

4	ピストン棒を硬いものに押しつけるなどして、押し込もうとしたり、ペン本体を落としたりしませんでしたか？	主治医に相談し、新しいイタンゴに交換してください。	6～7
---	--	---------------------------	-----

■ 注射針を装着できない

5	注射針が曲がっていませんか？	新しい注射針に交換し、正しく取りつけてください。	8～9
---	----------------	--------------------------	-----

■ インスリンカートリッジのゴム栓が異常に膨らんでいる

6	注射針をつけずに、単位設定して注入ボタンを押しませんでしたか？	注射針を正しく取りつけ、注射の前に空打ちを行って、針先からインスリンが出てくることを確認してください。	6～7 または 8～9
7	新しいインスリンカートリッジを取りつける時に、ピストン棒をペン本体に完全に戻しましたか？		

■ 注射する単位が設定できない

8	インスリンカートリッジ内のインスリンが不足していませんか？	イタンゴは残量以上の単位を設定できません。下記の 1 または 2 のいずれかで対処してください。 1 インスリンカートリッジを新しいものに交換し、空打ちした後、注射する単位を設定し、注射してください。 2 残量分を注射した後、新しいインスリンカートリッジに交換し、空打ちした後、不足分を追加で注射してください。	12～13
---	-------------------------------	---	-------

■ 単位設定ダイヤルを回した際に、ダイヤル表示が60単位を超えてしまった

9	無理に単位設定ダイヤルを回そうとしませんでしたか？	無理に単位設定ダイヤルを回してダイヤル表示が60を超えてしまった場合には、元に戻して使用せずに、新しいイタンゴに交換してください。	12～13
---	---------------------------	---	-------

■ 注入ボタンが押しにくい(押せない)

考えられる原因		対処方法	関連ページ
10	注入ボタンを斜めから押していませんか？	注入ボタンをまっすぐに押し込んでください。	14～15
11	注入ボタンを押し込む際に、単位設定ダイアルの側面に指が触れていませんか？	注入ボタンを押し込む際に、単位設定ダイアルの側面に指が触れないようにしてください。	

■ インスリンが出ない

12	インスリンカートリッジを交換した直後ではありませんか？	インスリンカートリッジを交換した直後は、繰り返し空打ちを行わないとインスリンが出てこないことがあります。インスリンが出てくるまで、繰り返し空打ちを行ってください。	10～11
13	ペン本体にカートリッジホルダーが正しく装着されてますか？	ペン本体とカートリッジホルダーとの間にすき間やゆるみがないことを確認してください。	6～7
14	インスリンカートリッジを使用中にカートリッジホルダーを取りはずしませんでしたか？	カートリッジホルダーを正しく取り付け、インスリンが出るまで繰り返し空打ちを行ってください。	
15	注射針がつまったり、曲がったりしていませんか？	新しい注射針に交換し、正しく取りつけてください。	8～9
16	インスリンカートリッジの中に気泡が入っていませんか？	気泡がなくなり、インスリンが出てくるまで、繰り返し空打ちを行ってください。 空打ちの操作を行っても小さな気泡が残ることがありますが、インスリンが出ることを確認できれば、わずかに気泡が残っていても、インスリンの注射量に影響はありません。	10～11
17	注入ボタンをダイアル表示が「0」になるまで確実に押し込みましたか？	注入ボタンをダイアル表示が「0」になるまで確実に押し込んでください。	

■ 注射後にダイアル表示が「0」に戻らない

18	注入ボタンが最後まで確実に押し込まれていますか？	インスリンが確実に注射できなかった可能性があります。血糖値や自覚症状の変化にご注意いただくとともに主治医に相談してください。	14～15
----	--------------------------	--	-------

■ ゴム栓からインスリンが漏れる

19	注射針をしっかり取りつけていなかったり、斜めに取りついたりしていませんか？	注射針をまっすぐに正しく取りつけてください。 それでもゴム栓からインスリンが漏れる場合は、新しい注射針に交換し、正しく取りつけてください。	8～9
----	---------------------------------------	--	-----

こんな時には？ ～トラブル時の対処方法～

●記載以外のトラブル、ご不明な点がある場合は、**オペラコール24** ☎0120-49-7010 までご相談ください。

■ 注射して皮膚から注射針を抜いたとき、針先からインスリンが漏れる

インスリンが確実に注射できなかった可能性があります。血糖値や自覚症状の変化にご注意いただくとともに、主治医に相談してください。次回からは、下記の20、21の点に注意してください。

考えられる原因		対処方法	関連ページ
20	注射針を抜くのが早すぎませんか？	注射した後、注入ボタンを押したまま約10秒間待ってから注射針を抜いてください。	14～15
21	インスリンカートリッジの中に大きな気泡が入っていませんか？	注射針を装着したまま保管すると気泡がたまりまます。インスリンが出るまで繰り返し空打ちを行いインスリンカートリッジ内の大きな気泡を取り除きます。	

■ 注射針を取りはずす際に、カートリッジホルダーがゆるんでしまった

22	カートリッジホルダーを持たずに注射針を取りはずそうとしませんでしたか？	そのままカートリッジホルダーをしめなおしてください。また、次回からはカートリッジホルダーを持って、針ケースごと注射針を取りはずしてください。	16～17
----	-------------------------------------	--	-------

■ インスリンカートリッジ内の気泡が多い

23	注射針を装着したまま保管していませんか？	注射が終わったら、必ず注射針を取りはずしてください。注射針を毎回取りはずしているにもかかわらず、インスリンカートリッジ内に気泡が多くある場合には、インスリンカートリッジがひび割れている可能性がありますので、新しいインスリンカートリッジに交換してください。	16～17
----	----------------------	---	-------

■ 赤いピストン棒リングを回してピストン棒をペン本体に戻そうとした際に、単位設定ダイヤルが出てきた

24	イタンゴの構造上、このような事象が見られることがあります。故障ではありません。	単位設定ダイヤルが出てきた場合には、ダイヤル表示が「0」になるまで注入ボタンを押し込んだ後、単位設定ダイヤルを持って、赤いピストン棒リングを回してください。	6～7
----	---	--	-----

■ ピストン棒をペン本体に戻した際に、ピストン棒リングが回らなくなりました

25	ピストン棒をペン本体に戻す際に、軽く当たる感触があった後も、ピストン棒リングを回し続けませんでしたか？	ピストン棒をペン本体に戻した際に、ピストン棒リングが回らなくなっても故障ではありません。新しいインスリンカートリッジをカートリッジホルダーに入れ、空打ちを行ってください。次回からは、ピストン棒をペン本体に戻す際は、軽く当たる感触があるところで止め、それ以上回し続けないでください。	6～7
----	---	--	-----

■ キャップが取りつけられない

	考えられる原因	対処方法	関連ページ
26	カートリッジホルダーがゆるんでいたたり、キャップを取りつける方向を誤っていませんか？	カートリッジホルダーがゆるんでいないことを確認した後、キャップを正しい方向(キャップの▶とペン本体の●をあわせる)で取りつけてください。	16～17

■ 操作中にカートリッジホルダーやインスリンカートリッジがはずれてしまった

27	カートリッジホルダーがゆるんだまま操作をしませんでしたか？	インスリンカートリッジは再度装着して使用することができます。正しく装着しなおして、必ず空打ちを行ってください。インスリンが出てくることを確認してから注射を行います。	——
----	-------------------------------	--	----

交換時期

イタンゴは使用開始後2年間で使用いただけます。

ただし、それ以前に「使用終了日確認カード」(製品に封入)に表示された使用期限に到達した場合には、その日が使用終了日となりますので、その時点で交換してください。

●使用終了日確認カード

(製品パッケージに封入されています)

製造番号	××××	●使用終了日確認カード● 操作方法を24時間365日サポート オプチコール24 0120-49-7010 ヨクアレ屋 サノフィ・アベンティス株式会社
使用期限	××年××月 末日	
使用開始日	年 月 日	
使用終了日	年 月 日	

(原寸大)

↑ご自分で記入ください。[表面]

使用開始日および使用終了日は、必ずご記入ください。

使用開始日:ご使用を開始された日

使用終了日:使用開始後2年もしくは使用期限のどちらか早い日

ご記入方法がわからない方は、オプチコール24にお問い合わせください。

(原寸大)

[裏面]

サノフィ・アベンティス 糖尿病関連医療機器サポートダイアル

操作方を24時間365日サポート

オペチコール24

☎ 0120-49-7010

ヨ ク ナ レ 糖

イフンゴ®をはじめサノフィ・アベンティスの糖尿病関連医療機器の操作方法に関するご質問に、専任のスタッフが24時間365日、いつでもサポートします。

医療機関名	氏名
	注射単位
	単位
主治医名	注射時間
	時